

# 第1回山形県津波浸水想定・被害想定検討委員会 議事概要

- 1 日 時 平成26年12月4日（木）午後1時～午後2時
- 2 場 所 山形県庁1201会議室
- 3 出席委員 今村委員長（互選により委員長に選任）、澤委員、長谷見委員、八木委員、川原田委員、阿部委員、桐山委員、菅原委員、白田委員、上坂委員

## 4 議 事

- (1) これまでの津波浸水想定 of 取組状況について【報告】
- (2) 日本海における大規模地震に関する調査検討会報告書の概要について【報告】
- (3) 津波浸水想定、被害想定 of 調査内容と進め方について【確認】
- (4) 検討委員会の進め方について【協議】
- (5) その他

## 【主な意見等】

- 当検討委員会では、津波防災地域づくり法に基づき、最大クラスの津波を想定して浸水想定・被害想定を検討する。
- 検討する被害想定では、津波だけでなく地震動の被害も含んで検討していく。
- 津波浸水想定 of 公表後、市町村が避難を含めた推進計画を作成することになるので、今回の被害想定 of 検討においては斜面崩壊の被害予測も行い、避難経路 of 計画などに役立つよう進めていただきたい。
- 最大クラスの津波を対象とするため、隣県が扱う科学的知見に基づいた断層については検討の対象にするべきであり、また、同じ断層を対象として検討した津波高さが隣県で違うといったことがないように、情報交換をしながら進めていくべき。
- 今回検討する被害想定をできるだけ具体的な内容にすることで、その後市町村が進める推進計画につなげやすくなる。
- 今後の検討では最大津波 of 到達時間を含め、情報の受け手が誤解しないよう各レベルに応じた津波高さ、到達時間を示し、避難計画 of 役に立つような公表をするべき。
- 浸水想定は被害想定より先行して公表できるのではないか。
- 委員による津波堆積物などの現地調査や委員会の庄内開催を希望する。
- CG作成について検討していただきたい。